



平成 27 年 1 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムホールディングス  
代 表 者 名 代表取締役社長 森 豊隆  
(コード番号 2372 東証第一部)  
問 合 せ 先  
役 職 取締役 社長室長  
氏 名 谷田 洋平  
電 話 03-3264-3148

## 当社子会社により株式会社メディネットへ導出した 樹状細胞を増幅する特許技術評価の終了に関するお知らせ

当社の 100%子会社であるディナベック株式会社（以下、「ディナベック」という）と株式会社メディネット（以下、「メディネット」という）は、ディナベックが開発し保有している「樹状細胞を増幅する特許技術」をメディネットが提供するがんの免疫細胞治療に用いる技術に合わせて用いるため、中国を除く全世界を対象としてメディネットに技術導出することに関して契約を平成 26 年 5 月 12 日に締結しております。このたびディナベックは本技術を用いた開発におけるマイルストーン収入を得るとともに、メディネットは臨床応用を目指した開発計画を策定し開発段階に進めることを決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特許技術導出に関する契約の概要

ディナベックは、同社が開発し保有している「樹状細胞を増幅する特許技術」をメディネットが提供するがんの免疫細胞治療に用いる技術に合わせて用いるため、技術導出することに関して契約を締結しております。

本契約のもと、メディネットはディナベックが保有する樹状細胞（Dendritic Cell=DC）の増幅技術を用いて再現性の確認等といった技術評価を実施しておりましたが、この度、複数の健康人において、従来の培養法と比較してより多くの樹状細胞を得られたことを確認致しました。この結果に基づきメディネットは、臨床応用を目指した研究開発を進めることを決定致しました。開発段階が進んだことにより、本契約に基づいて、ディナベックはメディネットからマイルストーン収入を受け取ります。今後、ディナベックとメディネットは、樹状細胞を用いたより効果的ながんの免疫細胞治療に用いる技術を開発し、医療現場で患者様に提供する事を目標として邁進致します。

がん樹状細胞ワクチン療法は、患者様自身の樹状細胞を使用するがん免疫療法です。樹状細胞はがん細胞などの異物を発見すると異物が提示する非自己分子を認識し、患者様の免疫機能を亢進する免疫の司令塔の役目を持っています。患者様の末梢血から分離した単球を樹状細胞に分化させ、患者様のがん細胞から抽出したがん抗原や合成したがん抗原を取り込ませた上で患者様の体内に戻してがんを治す治療法を言います。

従来の技術では、樹状細胞は増殖させることが難しい細胞であり、また、患者様によってはがん樹状細胞ワクチン療法で治療に使うための十分な数の樹状細胞を確保することが困難なケースもあるのが現状です。これに対し、ディナベックが開発した樹状細胞を増殖させる新しい方法によって、この課題を克服できると考えています。

## 2. 両社の概要

(1) 商号	ディナベック株式会社	株式会社メディネット
(2) 主な事業内容	遺伝子医薬品、細胞・再生医療、バイオ製品の研究開発と販売等	免疫細胞治療等を実施するための特定細胞加工物や再生医療等製品の細胞加工及び細胞医療製品や検査技術等の開発と販売等
(3) 設立年月日	平成 15 年 9 月 5 日	平成 7 年 10 月 17 日
(4) 本店所在地	茨城県つくば市大久保 6 番	神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目 3 番地 12 号
(5) 代表者	代表取締役会長 森 豊隆	代表取締役 会長 兼 社長 木村 佳司

## 3. 業績に与える影響

本決定による当期の業績への影響は軽微と見込んでおります。また、当期の業績予想に変更はありませんが、変更が生じる場合は、速やかにお知らせいたします。

以 上